

【令和6年第4回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定値の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

9月4日測定の結果、主灰が80ベクレル、飛灰が580ベクレルでした。

○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

9月4日測定の結果、主灰が190ベクレル、飛灰が17,000ベクレルでした。

○衛生センターで生産している肥料について

9月9日測定の結果、85ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■各施設の運転及び管理状況について

○光陽クリーンセンター改修工事について

9月12日より現地において着手し、現場事務所の設置、足場の組み立て、改修対象設備の解体搬出等 概ね予定通り進捗しており、今後、11月末の工事完了を目指してまいります。

○有害鳥獣焼却場について

本年4月からの処理状況については、9月20日現在で、53頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

○衛生センター、一里壇斎苑、松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

■病院事業について

○院内発熱外来者の状況について

昨年5月末で相馬市発熱外来が終了したことに伴い、発熱等の症状を有する患者の対応については、待機場所や診察場所を他の患者と区別し、「院内発熱外来者」として引き続き対応しております。

○院内発熱外来者 及び夜間休日の発熱患者数について

令和6年6月が、318人、うち、コロナ陽性者23人、インフルエンザ陽性者1人。

令和6年7月は、477人、うち、コロナ陽性者87人、インフルエンザ陽性者11人。

令和6年8月は、515人、うち、コロナ陽性者147人、インフルエンザ陽性者はおりませんでした。

発熱等による受診者及び、コロナ陽性者数については、7月に入り急激に増加し、発熱患者におけるコロナ陽性率は、7月は、18.2%、8月は、28.5%となりました。

令和6年9月は、9月20日現在で、286人、うち、コロナ陽性者37人、インフルエンザ陽性者はおらず、発熱患者におけるコロナの陽性率は、12.9%と低下いたしております。

公立相馬総合病院といたしましては、高齢者や感染リスクの高い入院患者が多いことから、外来患者や訪問者を含め、病院内に立ち入るすべての方に対し、引き続き、マスクの着用と面会制限をお願いしているところです。

○病院ボランティアについて

来院される患者さんが、より安心して医療を受けていただけるよう患者さんへの案内や誘導、車いす介助等を目的に、市民の皆さまや公立相馬総合病院を退職された方々により平成27年度に設立され、活動をされておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年度より一時活動を中断しておりました。

これまで、活動再開の時期について、コロナ感染者の状況を踏まえ、ボランティア団体の役員の方々と協議を重ねてまいりました結果、本年9月2日より4年5カ月ぶりに病院ボランティアの活動を再開することとなりましたので、ご報告いたします。

当面の間、月、水、金の週3日間、午前8時30分から11時まで、2名体制で案内等の活動を行うこととなります。

病院といたしましては、今後も、ボランティアの方々の協力を得ながら、患者サービスの向上につなげていきたいと考えております。